

国保



見直しの背景

日本では・・・

この10年で、70歳以上の高齢者数は **1.3倍** に、

国民医療費は **1.3倍** になりました。

団塊世代が全員75歳以上になる2025年には、

国民医療費の総額は **61.8兆円**

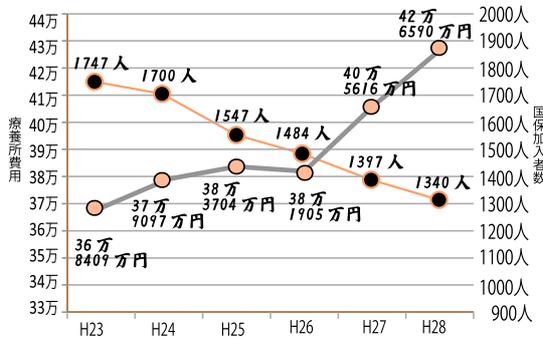
にもなる見込みです。

【国民医療費10年ごとの推移】



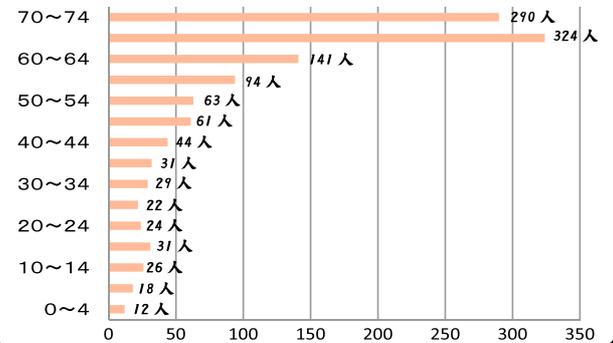
上ノ国町の医療費と国保加入者数の推移

被保険者が減少し、高齢層の増加や医療の高度化等により年々医療費は増加しています。



上ノ国町の国民健康保険加入者 (1,211人※H29年10月時点) の年齢階層別被保険者数

国民健康保険の加入者は年齢構成に偏りがあり、加入者全体の約6割を60歳以上が占めています。



国民健康保険は、国民にとって医療保険の最後の砦であり、最終的なセーフティネットとして機能していますが、その財政は危機的な状況が続いています。

国民健康保険は、元々自営業者や農家の人たちのための医療保険でしたが、産業構造の変化や雇用形態の変化で、今は加入者の8割が非正規で働く人や無職の人たちであり、高齢者も多いため医療費の支出も大きくなっています。

また、サラリーマンの多くが加入する社会保険のように、保険料を企業と負担を折半することもないため、一人あたりの保険料負担も重く、滞納世帯は全体の2割におよび、保険税の引き上げも難しい状況です。

そのため、これまでどおり市町村の財政で国民健康保険を運営することが限界に近づいており、今回の制度改正では、市町村ごとにバラバラだった財源を都道府県で一つにまとめ、その中で財政調整を行うことで、市町村間の保険料格差を縮めようとしています。

国民健康保険の窓口は、従来どおり住民課戸籍保険グループです。